

石川県産輪藻類の沿革及び特異性（I）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-02-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 今堀, 宏三, Imahori, Kozo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065326

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



今堀 宏三※ 石川県産輪藻類の沿革及び特異性(I)

Kozo Imahori : History and Remarks of Charophyta-flora in
Isikawa Prefecture. (I)

1) 沿 革

石川県で輪藻類がはじめて採集された記録について公にされたものはなく、又筆者が入手し得た資料もごく貧弱であるため、あるいは訂正されねばならないかも知れないが、一度これまでの採集記録をまとめ、かつ筆者自身が究明し得た限りの本県産輪藻類のフロラについて注目すべき事柄にふれたい。

本県で最初にこの類の採集を行つたのは、藻類学の父岡村金太郎博士である。当時四高教授として氏は県内各地の藻類を集められたが、その中で1894年(明治27年)7月・金沢市金石街道傍で採集された1種があり、現在金沢大学理学部植物学教室の腊葉室に保存されている。同標本はかなり損傷しているため正確な鑑定は出来ないが、その外形から察すると *Nitella Tanakiana* Allen タナカフラスモ又は *Nitella Saitoiana* Allen イヌフラスモでないかと思われる。この外現在国立科学博物館に所蔵されているものの中でNo.20815というのが金沢市で採集とのみ記され、採集年月は記入されてないため不確かであるが、上記の番号から察すると1894年又は1895年の採集と思われる。この標本の種名も記入されてなかつたが、筆者が検討した結果 *Chara Braunii* Gmel. シヤジクモであることが明らかとなつた。

其後明治年間に採集されたものは次表の通りである。(採集者はいずれも市村塘氏)

採集年月日	ラベル種名	採集地	備 考
明32年(1899)10月	<i>Nitella opaca</i> Agardh (タチフラスモ)	不 明	<i>N. Tanakiana</i> Allen ? (メナカフラスモ)
明43年(1910)8月22日	<i>Chara coronata</i> Ziz. (シヤジクモ)	河北潟	<i>C. Braunii</i> Gmel. (シヤジクモ)
" 8月24日	<i>Nitella</i> sp.	大根布 能登島向田	<i>N. furcata</i> Br. (フタマタフラスモ)
" 10月2日	<i>N. tenuissima</i> Kuetz (イトフラスモ)	鈴見大池 (金沢)	<i>N. pulchella</i> Allen (ハデフラスモ)
" 10月16日	<i>N. translucens</i> Ag.	西市ノ瀬道 溜池	<i>N. flexilis</i> Ag. (ヒメフラスモ)
" 10月	<i>Nitella</i> sp.	石川県水産 試験場	<i>N. hyalina</i> Ag. (オトメフラスモ)

第 1 表

これ等の中で最後のものを除く5枚はいずれも当腊葉室に保管され、市村氏によりラベルに種名が書込まれているが、それ等は残念ながら不正確なものが多い。しかも標本そのものがかなりひどく傷んでいるので、種を鑑定することは容易でないが、一応上表備考欄に記した如く訂正した。尙最後の標本は、現在東京大学理学部腊葉室に保存され、方言 *ジュズグサ* と記入されているが、筆者は *N. hyalina* と鑑定した。

※ 金沢大学理学部植物分類学研究室

かくて明治年間に本県で採集されたものは総計6~7種となるが、これ等の中で、*C. Braunii*, *N. furcata* 及び *N. flexilis* は cosmopolitan でかつ数も多いので特記すべきものではないが、*N. Tanakiana* (*N. Saitoiana*) と *N. pulchella* は日本特産種であり、特に後者はかなり好酸性植物であることが筆者最近の研究で判明した興味ある種である。

更に *N. hyalina* は cosmopolitan ではあるが、その分布はむしろ数少く、日本では青森県、千葉県、神奈川県、島根県、兵庫県及び種子ヶ島に発見されているのみである。この種は淡水産のごともあるが、むしろ半鹹水に多く島根県神西湖では C1含有量 6.85g/L の水中におびただしく繁茂していたものであり、又種子ヶ島ではマングローブの下に生育している。本県産のものでは C1については全く記録されていないが、その場所は海岸に沿うイソライト地帯の水溜であることから考えて相当量の塩分含有が想像される。

大正以降昭和21年筆者が当地に赴任するまでの約40年間は、この類の研究そのものが日本に関する限り暗黒時代であつた関係から採集標本は1つも残されず、全く放置されたままであつた。

2) 石川県の輪藻類総目録

筆者着任後の6ヶ年間の調査結果、漸く本県のフロラが略々明らかとなつたが、その概要は第2表に示す如くである。

すなわち、フラスモ属 25種、フラスモダマシ属 1種、シヤジクモ属 4種、合計 30種に上る。日本産輪藻類は58種数えられるのでその約半数が本県に産するわけである。之等30種の中で植物地理学上興味あるものについて次にのべる。

第 2 表

石 川 県 産 輪 藻 類 目 録

Charophyta-flora in Isikawa Prefecture

- | | |
|---|--|
| <p>1. <i>Nitella flexilis</i> Agardh ヒメフラスモ 河北郡俱利伽羅村、同英田村
var. <i>longifolia</i> Braun ap. Migula
オオフラスモ 河北郡笠谷村</p> <p>2. <i>Nitella acuminata</i> A. Braun var. <i>subglomerta</i> Braun トガリフラスモ 木場瀉
var. <i>capitulifera</i> (Allen) Imahori
チャボフラスモ 河北郡俱利伽羅村、同英田村</p> <p>※3. <i>Nitella pulchella</i> Allen ハデフラスモ 鈴見大池</p> <p>※※4. <i>Nitella Horikawae</i> ホリカワフラスモ 河北郡俱利伽羅村</p> <p>5. <i>Nitella flagellifera</i> Groves & Allen チンピンフラスモ 七尾市徳田</p> | <p>6. <i>Nitella tenuissima</i> Kuetzing
※var. <i>japonica</i> Imahori イトフラスモ 津幡町浅田</p> <p>※※7. <i>Nitella pusilla</i> Imahori チビフラスモ 七尾市徳田</p> <p>※8. <i>Nitella dimorpha</i> Migula ナガフラスモ 七尾市徳田</p> <p>9. <i>Nitella leptodactyla</i> Groves var. <i>megacarpa</i> Groves セイロンフラスモ 河北郡俱利伽羅村</p> <p>※10. <i>Nitella gracillima</i> Allen ヒナフラスモ 津幡町浅田</p> <p>11. <i>Nitella oligospira</i> A. Braun ミゾフラスモ 河北郡宇ノ気町、津幡町</p> <p>※12. <i>Nitella expansa</i> Allen スエヒロフラスモ 七尾市徳田</p> |
|---|--|

13. *Nitella orientalis* Allen ヘビフラスモ 河北郡俱利伽羅村
14. *Nitella axilliformis* Imahori ミルフラスモ 七尾市徳田
15. *Nitella furcata* Agardh フタマタフラスモ var. *furcata* Imahori ホンフタマタフラスモ 河北郡宇ノ気町、津幡町
- ※※var. *fallosa* (Morioka) Imahori テガヌマフラスモ 河北郡笠谷村
- ※16. *Nitella japonica* Allen ニツボンフラスモ 七尾徳田、河北郡俱利伽羅村、宇ノ気町
- ※※17. *Nitella erecta* Imahori トゲフラスモ 河北郡宇ノ気町
- ※18. *Nitella rigida* Allen オニフラスモ 七尾市徳田、河北郡中条村
19. *Nitella mucronata* Miquel サキボソフラスモ 河北郡英田村
20. *Nitella gracilis* (Smith) Agardh キヌイトフラスモ 河北郡笠谷村
- ※21. *Nitella Tanakiana* Allen タナカフラスモ 七尾市徳田、河北郡中条村、英田村
22. *Nitella megacarpa* Allen アメリカフ
- ラスモ 河北郡宇ノ気町
23. *Nitella microcarpa* A. Braun チリフラスモ
var. *microglochin* (A. Braun) Zanev. ホンチリフラスモ 河北郡宇ノ気町
var. *Glaziovii* (Zeller) Zaneveld. オニチリフラスモ 七尾市徳田
- ※※24. *Nitella flexuosa* Imahori ヤナギフラスモ 河北郡俱利伽羅村
25. *Nitella hyalina* Agardh オトメフラスモ 七尾市和倉
- ※26. *Tolypella gracilis* Imahori ニツボンフラスモダマシ 河北郡俱利伽羅村
27. *Chara Braunii* Gmelin シヤジクモ 七尾市天神川原、同徳田、金沢市兼六公園、河北郡英田村、木場潟、今江潟、河北潟
28. *Chara corallina* Willdenow オオシヤジクモ
※※var. *kyushensis* Imahori フシナシシヤジクモ 木場潟
29. *Chara globularis* Thuiller カタシヤジクモ 能登島緩目
30. *Chara zeylanica* Willdenow ハダシシヤジクモ 今江潟

備考：※ 日本特産種， ※※ 日本特産未発表新種（又は新変種）

(つ づ く)

瀬嵐哲夫・今井美智子・宮崎寿子※※※

安原海岸泥炭層の花粉分析と埋木 (II)

T. Searashi, M. Imai, & H. Miyazaki : Studies of Fossil Woods and Pollenanalyses of the Peat of Yasuhara Beach. (II)

手取川扇状地にあるので之等の埋木が或いは漂着木ではないかという懸念があるが、前述の様な状況から判断すると、嘗ての自生林が環境の急変によつて埋木になつたことを了解するに難くない。

昨年10月、第1図に示すD地点で、粘土層の大塊が汀へ転出して半ば波を被つていた

※※※ 金沢大学教育学部生物学教室